

### 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1470800820	事業の開始年月日	平成16年5月1日	
		指定年月日	平成16年4月1日	
法人名	株式会社 保健科学研究所			
事業所名	グループホーム 金沢けやき園			
所在地	( 236-0042 ) 神奈川県横浜市金沢区釜利谷東4-3-26			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	27名	
		ユニット数	3 ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月8日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

施設の中だけで過ごすことの無いよう、足も弱らないように天候が許す限り毎日散歩にでかけている。また、広い庭を生かして春と夏にバーベキューパーティを行い、ご家族もお呼びして入居者様や職員とのコミュニケーションの場ともなっている。普段は庭でのお茶会や昼食会をしている。ドライブを兼ね季節のお花見(梅・さくら・菖蒲・アジサイ・コスモス・もみじ)も楽しんでいただいている。

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年2月22日	評価機関 評価決定日	平成22年3月19日

**【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】**

<事業所の優れている点>  
 ◇医療連携体制加算の指定を受けており、看護師は訪問看護ステーションと契約し、週1回の来園時に利用者の健康チェック、健康相談を行っている。  
 電話での医療相談にも応じ24時間対応可能であることが、利用者と家族の安心感につながっている。  
 ◇内科医が、定期的に事業所に来て利用者の診療にあたっている。  
 整形外科医と訪問歯科医の往診も毎週あり、医療サービスが充実している。

<工夫している点>  
 ◇利用者一人ひとりに「ご家族様へ」という手紙を、毎月職員が書いて出しており、また、「金沢けやき園通信」も毎月発行して、家族とのコミュニケーションを図っている。

**【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】**

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

金沢けやき園

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	さくら

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は玄関に掲げてあり誰でも見ることが出来る。時々毎朝の申し送りで全員で唱和している。全職員は理念を実践につなげるよう努力し、つなげている。	・長文の基本理念を「普通の家庭生活を地域の方々や職員と共に楽しく過ごしていただけるように努めます」と要約し玄関等要所に掲出し周知している。朝の申し送り時に唱和し確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	園の夏まつりやバーベQパーティにご近所の方々にも来て頂いている。地域の夏まつりにはお神輿が来園し、休憩場所にも使用して頂いている。クリスマス会等に町内会館を借りており、町内の餅つき大会などにも参加させてもらい楽しんでいる。	・町内会に加入しており、夏祭りなど地域の行事に参加し、事業所の夏祭りやバーベキューに地域の人々を招待して交流している。 ・近隣の幼稚園児や小学生とも定期的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の大学の医学部6年生の方々が見学、交流に来園され認知症の方への理解を深めて下さっており、シニアボランティアの会の方々、民生委員の方々の研修、見学会にも来園頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H22.1.14(木)に第9回運営委員会を行なった。7名の委員の方々の意見を伺い、利用者へのサービスの実際、評価への取り組み状況について報告や話し合いを行い、サービスに活かしている。	・昨年、今年も年間2回の開催実績があり、今後は年4回開催の予定である。運営推進会議を通じ、町内会に災害時の協力を依頼済である、 ・避難場所として町内会館を使用する許可を得ている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の後は、市町村に書類を提出し、事業所の実情や取組みを伝えている。又、年に数回横浜市認知症介護実践研修、実習生の受け入れをしている。	・区の担当者と連絡を取り、運営状況を報告をしている。研修には、その都度職員が参加している。 ・市大医学部の精神科学学生の認知症研修の受け入れに協力している。	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜まで施錠せず、メロディーが流れるだけになっている。身体に拘束をすることは何時の場合も行っていない。	・身体拘束廃止マニュアルを各ユニットに備え、毎月のミーティングで研修しており、身体拘束をしないケアが職員に徹底している。 ・玄関は日中は開放しており、居室も施錠はしない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月一回、入居者一人ひとりのカンファレンスを行っており、虐待についての知識は全職員は持っており理解が出来ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度に入られている方も数人あり、職員も研修を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約の時は、時間をかけご家族に説明をし、質問を受けて理解・納得をしていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常の面会の時や家族会にいらっしやった時などに懇談の機会もとっており、外部への申し立て機関の電話番号等も伝えており、意見を伺って運営に反映させている。	・年4回の家族会の他、行事後に家族との懇談の機会を設けて、ユニットリーダーと管理者が対応して意見や要望を聴き運営に反映している。 ・家族からの苦情は、各ユニット毎の会議で話し合っ解決している。	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見を聞く機会はあるが、全員の意見を聞くに至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の業務の中で管理者が個別に聞き出している。</li> <li>・利用者から希望の多いドライブの機会を作るため、人員配置工夫の提案があり、検討中である。</li> </ul>	・職員全員の意見や提言を運営に反映する目的で、定期的に管理者や運営者が個人面談の機会を作ることが望まれます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績、勤務状況を把握しており、職場環境・条件を働き易いように努めている。（休憩時間の改定、正月特別手当等）		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、法人内外の研修を受ける機会をすすめており、働きながら資格を取る機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は、管理者や職員のネットワークへの参加や、各種の研修への参加をすすめ勉強する機会を作っており、サービスの質の向上への取り組みを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者やユニットリーダーは、新しく入居される方の不安や心配事・要望をよく聴き、スタッフに伝え安心して生活してもらえる関係づくりに努めている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族の意向をよく聴き、本人へのより良い支援になるように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族・本人の意向をよく聴き、安心して生活していただけるように支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒の場所で一緒の食事や一緒に買物や散歩に出掛け、冬には冬の生活を、季節の生活を一緒にし、時には職員の仕事も手伝ってもらい家族のように共に考え、困った事のある時は一緒に解決し、暮らして行きたいと関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や行事の参加を通じて、ご家族とも顔なじみとなっている。職員は毎月家族への手紙を書いており、本人と家族との関係をよく把握し、支えていくことに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所だった方が面会に来られたり、留守宅にしている方には、職員と一緒に帰宅し、ご近所の方と話をしたり、家の中に入り休憩をしたり荷物を運んだりしている。	・近隣の理美容院には、職員送迎や家族が同行し4名が利用している。 ・来訪する友人をバーベキューに招待するなど、関係継続の支援に努めている。	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく多くの方が共有できるレクを行ったり、共同で飾り物を作ったり、助け合ったり、お互いの部屋を訪問し合い、テレビを観たり、おしゃべり出来るよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族とも電話や葉書で連絡を取ったり、近況を尋ねたりしているが、すべての方ではない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個室の中には希望の家具が持ち込み、趣味の道具も置くことが出来ている。本人の思う暮らし方に副うように支援している。	・日常会話の中で思いや希望を汲み取るよう努めている。 ・意思表示ができず把握が困難な利用者には家族から聞いたたり、生活歴等から推察して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、以前のケアマネージャー等から生活歴や趣味などを伺い、現在の生活に活かしてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った一日を送っていただくよう支援している。その日の心身状態により、一緒に掃除をしたり台所のお手伝い、洗濯物のお手伝いなどの仕事をお願いしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスと、必要に応じてのカンファレンスでユニットの職員全員の意見を反映し、介護計画を作成している。	・毎月ケアカンファレンスとモニタリングを行い、全職員の意見をもとに、担当者が介護計画を作成している。 ・介護計画は、急変時以外家族の意見を聞き同意を得て、6か月ごとに見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録は時系列で24時間記入し、又、申し送りを通して共有できており、月に一度個人の情報を会議で話し合い、介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が他府県であったり、ご家族のいらっしゃらない方もあるので、必要な支援に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ケアプラザの方々との連携もあり、ボランティアさん（絵手紙、音楽、フラダンス）の方々の来園もある。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、整形、歯科の往診の医師が来られている。従来の医師の受診を続けられる方もあり、自由に選んで医療を受けることが出来ている。	・かかりつけ医の選択は自由であり、現在2名が家族対応で受診している。 ・なお事業所では、看護師との契約・医療機関との連携で、24時間医療処置を受ける体制ができています	



金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	近隣の24時間訪問看護ステーションと連携契約をしており、毎週月曜日に訪問を受けている。その折に相談をしている。緊急の時は電話で支援を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院にはこちらでの生活情報を提出し、入院中も安心して治療を受けることが出来るよう支援し、相談が出来る。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には毎月のお手紙でお知らせは出来ており、面会時などを利用し話し合える取り組みがある。	・入居時、常時医療を要し、食事が困難なときは、入院してもらう方針を説明し、利用者と家族の了解を得ている。 ・重度化した場合は、利用者に専門病院への入院をお願いし、終末期を過ごせるよう職員間で方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルがあり、それに添って行っている。簡単な応急手当が出来るものは揃えてあるが定期的訓練はしていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っている。万一の時は近所の町内会館が避難先となっている。	・消防署の指導で年2回避難と夜間想定訓練をしている。 ・町内会とは、災害時の協力体制ができています。 ・水、乾パン、手袋、簡易トイレを備蓄している。今月スプリンクラーの工事が完了する予定である。	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
から					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩でありお客様であるという意識を職員は持っており、誇りやプライバシーを大切にすることをしている。	・利用者は、大事な先輩として敬い、不適切な言動には十分に留意するよう職員に徹底している。 ・特にトイレ介助では、他の利用者に気づかれないよう、羞恥心に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	決め付けずに傾聴する。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしている。入浴も希望を聴き、入っただけを聞いています。散歩や外出も希望を聞いて出掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服や髪型などにさりげなくアドバイスしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事は手伝っていただき、若い職員は、作った事のないふき味噌の作り方や知らないメニューの作り方を教えてもらったりしている。力量に応じ、準備や片付けを一緒に行っている。	・味付けに工夫し、個別に塩分を控えたり、キザミ、ミキサー食へも対応している。 行事食では利用者の好みを優先して、お好み焼き、寿司、餃子などを作っている。 ・利用者は下膳、食器拭きなどを手伝っている。	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の量を確認し、記録し、水分量もチェックしており一日のトータルを記録している。水分量の少ない人には好みの飲み物を提供し、水分量を多く確保出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、ご本人の力量に応じ介助を行い、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレチェック表を作成し、間隔や排便の有無を確認し、トイレ誘導を促したり介助を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分・排泄チェック表を付けて、排泄間隔を把握している。時間を見てトイレ誘導し便座に座って自力で排泄できるよう支援している。</li> <li>日中60%、夜間90%のオムツ装着率の改善に努めている。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多いもの、果物、牛乳、ヨーグルトなどを提供し、毎朝のラジオ体操や散歩を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の声掛けをし、希望を尋ねてから入浴をしていただいている。時間帯もなるべく希望に副っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴の頻度は、週2回が多いが、週3回の利用者もいる。</li> <li>入浴拒否の方には、声かけや言葉を工夫して誘導し、状況に応じ清拭をしている。</li> <li>季節に応じて、しょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいる。</li> </ul>	

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度や湿度に気を配り、快適な室温にしている。布団は天気の良い日に外へ干しており、寝具の洗濯記録もとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬支援をしており、職員は薬の目的、用法を熟知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションを通じ、楽しみや気分転換を図っており、昔からの趣味を持っている方は継続出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩はお天気が良ければ毎日出掛けており、近隣に散歩コースが何本もあり、短距離コース、健脚コースなどがある。季節の花見やドライブに出掛けたりしている。	・近所の公園から、お寺参りの後花屋に行くコースに人気があり、天気の良い日は、毎日午前散歩している。 ・外食を兼ねて花見や紅葉狩りなど、季節のドライブも好評である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の支払い・受け取りが難しい方もあり、力量に応じて所持し、使用して頂いている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望者には自由に使用してもらっている。手紙を書いたり、作品としての絵手紙の送付も支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は広くとっており、照明も気を配っており、光源が直接目に入らないよう工夫している。大きな音もたたないよう配慮がある。	・共用空間は、洋室に続いて、ソファを置いた和室があり、利用者はどちらでも自由に使って寛いでいる。 ・壁面にぬり絵、習字、カレンダーなど、利用者の作品や行事の写真を飾り生活感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にはソファが数本あり、廊下にも椅子が用意されており、思い思いに過ごせる工夫がある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全個室でもあり、それぞれの部屋には使い慣れたものや昔作った作品や趣味の品々を飾り、居心地良い居室になっている。	・居室には、タンス、テレビ、机、イス、加湿器など使い慣れた家具が持ち込まれている。 ・壁面には、家族の写真や色紙ぬり絵などを、ベッドには縫いぐるみを置き、気の休まる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーであり、トイレの場所の目印もあり、足の弱い方も廊下に手すりを取り付けてあるので、自由に移動が出来る。		

金沢けやき園

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	かえで

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は玄関に掲げてあり誰でも見ることが出来る。時々毎朝の申し送りで全員で唱和している。全職員は理念を実践につなげるよう努力し、つなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	園の夏まつりやバーベQパーティにご近所の方々にも来て頂いている。地域の夏まつりにはお神輿が来園し、休憩場所にも使用して頂いている。クリスマス会等に町内会館を借りており、町内の餅つき大会などにも参加させてもらい楽しんでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の大学の医学部6年生の方々が見学、交流に来園され認知症の方への理解を深めて下さっており、シニアボランティアの会の方々、民生委員の方々の研修、見学会にも来園頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H22.1.14(木)に第9回運営推進会議を行なった。7名の委員の方々の意見を伺い、利用者へのサービスの実際、評価への取り組み状況について報告や話し合いを行い、サービスに活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の後は、市町村に書類を提出し、事業所の実情や取組みを伝えている。又、年に数回横浜市認知症介護実践研修、実習生の受け入れをしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜まで施錠せず、メロディーが流れるだけになっている。身体に拘束をすることは何時の場合も行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月一回、入居者一人ひとりのカンファレンスを行っており、虐待についての知識は全職員は持っており理解が出来る。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	成年後見制度に入られている方も数人あり、職員も研修を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約の時は、時間をかけご家族に説明をし、質問を受けて理解・納得をしていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常の面会の時や家族会にいらっしゃった時などに懇談の機会もとっており、外部への申し立て機関の電話番号等も伝えており、意見を伺って運営に反映させている。		



金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見を聞く機会はあるが、全員の意見を聞くに至っていない。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績、勤務状況を把握しており、職場環境・条件を働き易いように努めている。(休憩時間の改定、正月特別手当等)		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、法人内外の研修を受ける機会をすすめており、働きながら資格を取る機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は、管理者や職員のネットワークへの参加や、各種の研修への参加をすすめ勉強する機会を作っており、サービスの質の向上への取り組みを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者やユニットリーダーは、新しく入居される方の不安や心配事・要望をよく聴き、スタッフに伝え安心して生活してもらえる関係づくりに努めている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族の意向をよく聴き、本人へのより良い支援になるように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族・本人の意向をよく聴き、安心して生活していただけるように支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒の場所で一緒に食事や一緒に買物や散歩に出掛け、冬には冬の生活を、季節の生活を一緒にし、時には職員の仕事も手伝ってもらい家族のように共に考え、困った事のある時は一緒に解決し、暮らして行きたいと関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や行事の参加を通じて、ご家族とも顔なじみとなっている。職員は毎月家族への手紙を書いており、本人と家族との関係をよく把握し、支えていくことに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所だった方が面会に来られたり、留守宅にしている方には、職員と一緒に帰宅し、ご近所の方と話をしたり、家の中に入り休憩をしたり荷物を運んだりしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく多くの方が共有できるレクを行ったり、共同で飾り物を作ったり、助け合ったり、お互いの部屋を訪問し合い、テレビを観たり、おしゃべり出来るよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族とも電話や葉書で連絡を取ったり、近況を尋ねたりしているが、すべての方ではない。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個室の中には希望の家具が持ち込め、趣味の道具も置くことが出来ている。本人の思う暮らし方に副うように支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、以前のケアマネジャー等から生活歴や趣味などを伺い、現在の生活に活かしてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った一日を送っていただくよう支援している。その日の心身状態により、一緒に掃除をしたり台所のお手伝い、洗濯物のお手伝いなどの仕事をお願いしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスと、必要に応じてのカンファレンスでユニットの職員全員の意見を反映し、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録は時系列で24時間記入し、又、申し送りを通して共有できしており、月に一度個人の情報を会議で話し合い、介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が他府県であったり、ご家族のいらっしゃらない方もあるので、必要な支援に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ケアプラザの方々との連携もあり、ボランティアさん（絵手紙、音楽、フラダンス）の方々の来園もある。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、整形、歯科の往診の医師が来られている。従来の医師の受診を続けられる方もあり、自由に選んで医療を受けることが出来ている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	近隣の24時間訪問看護ステーションと連携契約をしており、毎週月曜日に訪問を受けている。その折に相談をしている。緊急の時は電話で支援を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院にはこちらでの生活情報を提出し、入院中も安心して治療を受けることが出来るよう支援し、相談が出来る。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には毎月のお手紙でお知らせは出来ており、面会時などを利用し話し合える取り組みがある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルがあり、それに添って行っている。簡単な応急手当が出来るものは揃えてあるが定期的訓練はしていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回避難訓練を行っている。万一の時は近所の町内会館が避難先となっている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩でありお客様であるという意識を職員は持っており、誇りやプライバシーを大切にする事の対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	決め付けずに傾聴しており昔の出来事や、好みの食べ物の話を聞き時折の夕食や誕生会のメニューに取り入れている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしている。入浴も希望を聴き、入っていただいている。散歩や外出も希望を聴いて出掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の訪問理美容を勧めたり、昔からの美容院を希望の方は家族や職員がお連れしている。洋服の組み合わせもさりげなくアドバイスしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや、野菜を切ったり味付けを見てもらったりしている。若い職員は、作った事のないふき味噌の作り方や知らないメニューの作り方を教えてもらったりしている。力量に応じ、準備や片付けと一緒に		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の量を確認し、記録し、水分量もチェックしており一日のトータルを記録している。水分量の少ない人には好みの飲み物を提供し、水分量を多く確保出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、ご本人の力量に応じ介助を行い、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレチェック表を作成し、間隔や排便の有無を確認し、トイレ誘導を促したり介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多いもの、果物、牛乳、ヨーグルトなどを提供し、毎朝のラジオ体操や散歩を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の声掛けをし、希望を尋ねてから入浴をしていただいている。時間帯もなるべく希望に副っている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度や湿度に気を配り、快適な室温にしている。布団は天気の良い日に外へ干しており、寝具の洗濯記録もとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬支援をしており、職員は薬の目的、用法を熟知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜作りやガーデニングの好きな方には、種まきから収穫まで関わっていただき、季節の花も育ててもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩はお天気良ければ毎日出掛けており、季節に応じ花見やみかん狩りを行っている。ドライブを兼ね買い物に出かけたりしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の支払い・受け取りが難しい方もあり、力量に応じて所持し、使用して頂いている。		



金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望者には自由に使用してもらっている。手紙を書いたり、作品としての絵手紙の送付も支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は広くとっており、照明も気を配ったものになっている。玄関先には季節の花を飾り、3月は雛人形、12月は大きなクリスマスツリーを飾り季節感を楽しんでもらっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にはソファが数本あり、廊下にも椅子が用意されており、思い思いに過ごせる工夫がある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全個室でもあり、それぞれの部屋には使い慣れたものや昔作った作品や趣味の品々を飾り、居心地良い居室になっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーであり、トイレの場所の目印もあり、足の弱い方も廊下に手すりを取り付けてあるので、自由に移動が出来る。		

金沢けやき園

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	つばき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は玄関に掲げてあり誰でも見ることが出来る。時々毎朝の申し送りで全員で唱和している。全職員は理念を実践につなげるよう努力し、つなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	園の夏まつりやバーベQパーティにご近所の方々にも来て頂いている。地域の夏まつりにはお神輿が来園し、休憩場所にも使用して頂いている。クリスマス会等に町内会館を借りており、町内の餅つき大会などにも参加させてもらい楽しんでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の大学の医学部6年生の方々が見学、交流に来園され認知症の方への理解を深めて下さっており、シニアボランティアの会の方々、民生委員の方々の研修、見学会にも来園頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H22.1.14(木)に第9回運営推進会議を行なった。7名の委員の方々の意見を伺い、利用者へのサービスの実際、評価への取り組み状況について報告や話し合いを行い、サービスに活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の後は、市町村に書類を提出し、事業所の実情や取組みを伝えている。又、年に数回横浜市認知症介護実践研修、実習生の受け入れをしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜まで施錠せず、メロディーが流れるだけになっている。身体に拘束をすることは何時の場合も行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月一回、入居者一人ひとりのカンファレンスを行っており、虐待についての知識は全職員は持っており理解が出来ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度に入られている方も数人あり、職員も研修を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約の時は、時間をかけご家族に説明をし、質問を受けて理解・納得をしていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常の面会の時や家族会にいらっしゃった時などに懇談の機会もとっており、外部への申し立て機関の電話番号等も伝えており、意見を伺って運営に反映させている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見を聞く機会はあるが、全員の意見を聞くに至っていない。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績、勤務状況を把握しており、職場環境・条件を働き易いように努めている。（休憩時間の改定、正月特別手当等）		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、法人内外の研修を受ける機会をすすめており、働きながら資格を取る機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は、管理者や職員のネットワークへの参加や、各種の研修への参加をすすめ勉強する機会を作っており、サービスの質の向上への取り組みを行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者やユニットリーダーは、新しく入居される方の不安や心配事・要望をよく聴き、スタッフに伝え安心して生活してもらえる関係づくりに努めている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族の意向をよく聴き、本人へのより良い支援になるように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ユニットリーダーは、ご家族・本人の意向をよく聴き、安心して生活していただけるように支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒の場所で一緒に食事や一緒に買物や散歩に出掛け、冬には冬の生活を、季節の生活を一緒にし、時には職員の仕事も手伝ってもらい家族のように共に考え、困った事のある時は一緒に解決し、暮らして行きたいと関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や行事の参加を通じて、ご家族とも顔なじみとなっている。職員は毎月家族への手紙を書いており、本人と家族との関係をよく把握し、支えていくことに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所だった方が面会に来られたり、留守宅にしている方には、職員と一緒に帰宅し、ご近所の方と話をしたり、家の中に入り休憩をしたり荷物を運んだりしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく多くの方が共有できるレクを行ったり、共同で飾り物を作ったり、助け合ったり、お互いの部屋を訪問し合い、テレビを観たり、おしゃべり出来るよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族とも電話や葉書で連絡を取ったり、近況を尋ねたりしているが、すべての方ではない。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個室の中には希望の家具が持ち込め、趣味の道具も置くことが出来ている。本人の思う暮らし方に副うように支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、以前のケアマネジャー等から生活歴や趣味などを伺い、現在の生活に活かしてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合った一日を送っていただくよう支援している。その日の心身状態により、一緒に掃除をしたり台所のお手伝い、洗濯物のお手伝いなどの仕事をお願いしている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスと、必要に応じてのカンファレンスでユニットの職員全員の意見を反映し、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録は時系列で24時間記入し、又、申し送りを通して共有できており、月に一度個人の情報を会議で話し合い、介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が他府県であったり、ご家族のいらっしゃらない方もあるので、必要な支援に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ケアプラザの方々との連携もあり、ボランティアさん（絵手紙、音楽、フラダンス）の方々の来園もある。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、整形、歯科の往診の医師が来られている。従来の医師の受診を続けられる方もあり、自由に選んで医療を受けることが出来ている。		



金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	近隣の24時間訪問看護ステーションと連携契約をしており、毎週月曜日に訪問を受けている。その折に相談をしている。緊急の時は電話で支援を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院にはこちらでの生活情報を提出し、入院中も安心して治療を受けることが出来るよう支援し、相談が出来る。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には毎月のお手紙でお知らせは出来ており、面会時などを利用し話し合える取り組みがある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルがあり、それに添って行っている。簡単な応急手当が出来るものは揃えてあるが定期的訓練はしていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回避難訓練を行っている。万一の時は近所の町内会館が避難先となっている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩でありお客様であるという意識を職員は持っており、誇りやプライバシーを大切にすることを大切にしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	決め付けずに傾聴しており昔の出来事や、好みの食べ物の話を聞き時折の夕食や誕生会のメニューに取り入れている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしている。入浴も希望を聞き、入っていただいている。散歩や外出も希望を聞いて出掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の訪問理美容を勧めたり、昔からの美容院を希望の方は家族や職員がお連れしている。洋服の組み合わせもさりげなくアドバイスしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや、野菜を切ったり味付けを見てもらったりしている。若い職員は、作った事のないふき味噌の作り方や知らないメニューの作り方を教えてもらったりしている。力量に応じ、準備や片付けを一緒に		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の量を確認し、記録し、水分量もチェックしており一日のトータルを記録している。水分量の少ない人には好みの飲み物を提供し、水分量を多く確保出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、ご本人の力量に応じ介助を行い、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレチェック表を作成し、間隔や排便の有無を確認し、トイレ誘導を促したり介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多いもの、果物、牛乳、ヨーグルトなどを提供し、毎朝のラジオ体操や散歩を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の声掛けをし、希望を尋ねてから入浴をしていただいている。時間帯もなるべく希望に副っている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度や湿度に気を配り、快適な室温にしている。布団は天気の良い日に外へ干しており、寝具の洗濯記録もとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬支援をしており、職員は薬の目的、用法を熟知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜作りやガーデニングの好きな方には、種まきから収穫まで関わっていただき、季節の花も育ててもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩はお天気が良ければ毎日出掛けており、季節に応じ花見やみかん狩りを行っている。ドライブを兼ね買い物に出かけたりしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の支払い・受け取りが難しい方もあり、力量に応じて所持し、使用して頂いている。		

金沢けやき園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望者には自由に使用してもらっている。手紙を書いたり、作品としての絵手紙の送付も支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は広くとっており、照明も気を配ったものになっている。玄関先には季節の花を飾り、3月は雛人形、12月は大きなクリスマスツリーを飾り季節感を楽しんでもらっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にはソファが数本あり、廊下にも椅子が用意されており、思い思いに過ごせる工夫がある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全個室でもあり、それぞれの部屋には使い慣れたものや昔作った作品や趣味の品々を飾り、居心地良い居室になっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーであり、トイレの場所の目印もあり、足の弱い方も廊下に手すりが取り付けられているので、自由に移動が出来る。		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム金沢けやき園

作成日 平成 22 年 4 月 5 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	11	事業所の運営に関する職員全員の意見や提案を聞くに至っていない。	管理者は、運営に関する職員全員の意見や提案を聞く機会を作る。	数人ずつに分けて、週に2回くらい個別に面談を行う。	約3か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。